

アイデア対決・全国高専ロボコン2011東海北陸地区大会 = 岐阜高専 =

石川高専Bチームが優勝、準優勝した岐阜高専Aチーム及び豊田高専Bチーム、金沢高専Bチームとともに4校が全国大会へ

アイデア対決・全国高専ロボコン2011東海北陸地区大会が、10月30日(日)に岐阜高専主管のもと、岐阜アリーナ(ヒマラヤアリーナ)で開催され、東海北陸地区の9高専(10キャンパス)から20チームが参加して熱戦を繰り広げた。

今年度の競技課題は『ロボ・ボウル』で、スタートしたオフェンスロボットが途中で学生からアメフトのボールを受け取り、相手チームのディフェンスロボットをかわしてフィールド奥のレシーバーの学生にタッチダウンパスを送るもの。東海北陸地区はロボットのレベルが高く、様々なアイデアを搭載したロボット間で熱戦が繰り広げられた。

優勝したのは、石川高専Bチーム「Anastasia's mate」で、1回戦から決勝戦までの全試合でタッチダウンパスを決める安定した実力を発揮した。

地元岐阜高専からは2チームが出場し、Aチームの「X Machina」は今大会での最短タッチダウンタイムを記録した。決勝戦では石川高専Bチームと同点、再試合の熱戦を繰り広げ、会場を大いに沸かせていた。また、Bチームの「Vector」は前日のテストランからその実力の高さが話題になっていたが、惜しくも準決勝で優勝チームの石川高専Bに敗れ、ベスト4に留まった。

当日は雨交じりの曇り空であったが、選手及び観客を含め1,500名を越える観覧があり、タッチダウンパスが決まるたびに多くの拍手歓声が飛び交い、観客の目を楽しませていた。

熱戦の結果は次のとおり。

優勝	石川高専B	「Anastasia's mate」	(全国大会出場)
準優勝	岐阜高専A	「X Machina」	(全国大会出場)
アイデア賞	豊田高専B	「飛・飛・飛」	(全国大会出場)
技術賞	鈴鹿高専A	「千鳥乃番」	
デザイン賞	福井高専B	「投迅防」	
ロボ・ボウル賞	金沢高専B	「飛籠滝」	(全国大会出場)
特別賞	富山高専(射水)A	「鬼機怪械」	
	鈴鹿高専B	「long long ago」	
	豊田高専B	「飛・飛・飛」	
	福井高専B	「投迅防」	



開会式挨拶：岐阜高专北田校長



準優勝した岐阜高专 A